

【イノベーション・ジャパン 2010-大学見本市】

9月29日から10月1日まで、東京国際フォーラムを会場に「イノベーション・ジャパン 2010-大学見本市」が開催されました。本学科からは人工生体機構研究室の高効率細胞改変システムと関連ロボット、また企業ブースでは機械開発設計研究室との共同研究により開発されたタンデムリングミルが紹介されました。

バイオとロボットとのあまり例のない組み合わせということもあり、人工生体機構の展示ブース前では人が途切れず、説明担当の齋藤敬准教授と学生も大忙しでした。

展示の主力は細胞改変ロボットシステムでしたが、多脚歩行ロボット「Whitegoat/しろやぎ」や最新の伸縮マニピュレータも実働デモを行い、会場を沸かせました。この出展をきっかけに、これら技術の実用化が加速するよう期待したいところです。なお、秋田魁新報10月2日朝刊に関連記事が掲載されました。

■参加者

- ・ 齋藤 敬 准教授（システム科学技術学部 機械知能システム学科）
- ・ 人工生体機構研究室 4年生 2名

■日程および会場

- ・ 平成22年9月29日～10月1日
- ・ 東京国際フォーラム



ロボットシステム総動員の発表準備



発表終了、3日間がんばりました。